

南風

田富南小校長通信
No.3 5月9日(火)

目的(目標)を持つこと



4月の年度初めの^{あわ}慌ただしさも、ゴールデンウィークが終わりどことなく落ち着き、社会全体が再スタートしたように思われます。確実に春から夏に向かって季節も移り変わってきました。新型コロナウイルス^{かんせんしゅう}感染症も「5類」へと^{へんこう}変更になり、社会全体が「ウイズコロナ」となりますが、「コロナ前」のような以前の社会に戻りつつあるように思われます。「初夏^{しよか}」が近づきつつある今、だんだんと過ごしやすくなり家の中にいるよりも^{おくがい}屋外で



何かをしていたほうが楽しく感じる季節でもあります。

さて、この世の中には「^{じっしつてき}実質的な意味を失って^{けいしき}形式だけが残る」ということがあります。

「意味を持って始めた事が長い月日を過ごしていくうちに、始めた頃の^{いぎ}意義が失われてしまい、中身がない形だけのものになってしまう」という状態を表していると言えます。いわゆる「^{けいがいか}形骸化」という言葉が当てはまるのではないかと思います。今の自分たち(学校)のことを考えてみても、学校教育の中でも同じようなことが起きていることがあります。例えば、その当時の子どもたちの様子から、「この子どもたちにこんな力をつけたい」とか、「こんな活動を取り入れて、もっと子どもたちのいろいろな力を伸ばしていこう!」などといった思いから、たくさんの活動が取り入れられたり、行事などの内容などを工夫したりするなどして、目指す目標(目的)を達成しようとしてきました。しかし、そんな活動が長年月を経て^{だいたい}代々引き継がれていくと、いつの間にか目標(目的)が現在の子どもたちの状況や^{しゃかいじょうせい}社会情勢とは合わないまま行われ続けていたり、その活動や取り組みを始めた頃から年月が過ぎ始めた頃の先生方も異動していなくなって目的(目標)や意義などが分からないまま、「ずっと続いてきたから」などといった理由で行われていくことがあります。これが、「^{けいがいか}形骸化」ということになっていくのでしょう。そんな時は、「なぜ(その活動などが)行われてきたのか」とか「この活動を通して何を子どもたちに求めているのか」「この活動の目的(目標・ねらい)とは何か」などを^ふ考え^{かえ}振り返ってみることが大切です。そして、時にはその活動の中身を(今の子どもたちに合わせて)変えてみることや^お違う活動などに^か置き^{しゅしやせんたく}換えたり、^{さいこうちく}取捨選択することも必要なのだと思います。「スクラップ&ビルド」という言葉もあり、^{さいこうちく}再構築ということも時には必要なのかもしれません。



今学校の授業ではICT機器(一人一台端末)などを道具として活用しながら「教えてもらう」だけの子どもたちが受け身になる授業ではなく「学んだ知識や技能を生かして、課題について考え、解決しながら結論を導き出す」といった自分が主体的に活動していく授業に移り変わってきています。当然^{きそてき}基礎的な内容を学んだ後に各児童が課題を解決するためには、「^{しゅたいせい}主体性」もって、学んでいくことが求められて

います。田富南小学校の学校目標は「豊かな心とたくましい体を持ち主体的に学ぶ子」です。子どもたちが主体的に学んでいくためにも基礎的な内容の定着はもちろん、目的や目標(めあて)を先生たちも子どもたちもしっかりと持つことで、取り組んで行くことが重要だと思います。今の子どもたちは、ネットで簡単に情報を集めることができます。でも、その情報が正しいかどうかは自分たちで判断しなければなりませんし、情報が正しいと思いつまらずに、自分でも考えるという力(情報活用能力)を身につけることが大切です。また、せっかく授業で学んだことが授業の中では理解できている、定着しなければ、さらに新たな知識・技能を構成することはできません。「知っている」と「できる」は明らかに違います。授業で「知ること」ができたこと(学んだこと)を生かして(課題を解決)「できる」ためには学校での学習だけでなく、家庭での学習が重要なのです。



避難訓練を行いました。



4月24日(月)避難訓練を行いました。日本は地震などの自然災害や火災などの災害も多い国であり、ひとたび災害が発生すると大きな被害に遭うことが考えられます。災害が起こっても、安全に避難できるようにするための訓練です。以前にも触れましたが、「知

っている」と「できる」は違います。テレビなどで避難訓練の様子などを見て、知識として「知って」いても、いざ何か災害があった際にその知っていることを実際に「やってみる」ことが出来なければ、何にもなりません。それ故、いざという時に「どのように避難したらよいか」などを訓練として行うわけです。今回は大規模地震発生時の避難訓練でした。他にも火災や水害など、いろいろな種類の自然災害等が想定されます。また、違う機会に違う自然災害等を想定した避難訓練を実施します。軽く考えずに、この訓練の目的を理解して、訓練に臨んでほしいと思います。



避難をするときの大切な約束



なお、24日(木)には災害など緊急時対応として、引き渡し訓練も行います。ご協力をお願いします。能登半島での震度6強の地震が起きました。いつ起こるか分からない自然災害に対する訓練です。よろしくをお願いします。